

2021年1月発行

茨木御堂 第275号



真宗大谷派



茨木別院

(輪番 高木 文善)

〒567-0817 茨木市別院町3-31
TEL (072) 622-2903
FAX (072) 625-9445

私^{わたし}を^いか^かして^てお^おる^るカ^{ちから}とい^いう^うもの^{もの}に^に帰^{かえ}っ^てい^いく^く歩^{あゆ}み^みそ^それ^れが^が仏^{ぶつ}道^{どう}

新年あけましておめでとうございます。令和二年はコロナ禍に振り回された一年でした。何かしら締りのつかない年を終え、迎えた令和三年は何かしら不安が覆い、新年の期待や希望の全てをコロナワクチンに持っていかれてしまったような新年であるように思えてなりません。

さて、新年を迎えるにあたって思い当たるのは、蓮如上人の「道徳はいくつになるぞ、道徳、念仏もうさるべし」のお言葉です。

これは蓮如上人が晩年、山科本願寺で隠居の身であられた時の正月のことです。勸修寺の道徳(蓮如上人のお弟子さん)が新年の挨拶に参上した時の蓮如上人の第一声でした。おそらく道徳は〇〇歳になりましたと答えたでありましょう。しかし蓮如上人にとっては、本当は歳をたずねているのではないぞ！という思いであつたようです。そのことは次におっしゃったことば、「道徳、念仏もうさるべし」がそのことを如実に言い表しています。道徳よ、その歳になって「後生の一大事」は定まったのか！ということが言いたかったのであります。この問答を受けて、念仏に生かされる人生、念仏によって力強く生きていく人生の大事を再確認したいと思っています。NHKの報道番組にこんなことが紹介されていました。シングルマザーで四人の子どもを抱えて生きていらっしゃる方が、コロナ禍で仕事が切られてしまい生活苦のどん底に追い込まれているということでありました。何度も何度もハローワークに向かい、職さがしをされるのですが全く成立せず、唯一紹

介されたアルバイトが、深夜から翌朝五時までの仕事であった。家族と相談した結果、そんな深夜の仕事が続いて、お母さんが倒れてもしたら元も子もない。そういう結論になって選択された道が、高校生である長女のお姉ちゃんがアルバイトをするということになったそうです。高校生のアルバイトだけでなく五人の家族が生活することは不可能です。誠に悲惨な状況であります。世の中にはコロナ禍でこのような例は万とあるにちがいません。そのような方々にとつて「念仏もうさるべし」はどう響くのでしょうか。今のこの生活から抜け出す手段にならない(つまり念仏ではお金が入ってこない)のならば何の意味も興味ありませんという答えが返ってくるに違いありません。確かに念仏を申したからと言って直接的にお金が入ってきたり儲かったりすることは無いのですから。

さて、念仏の教えは究極的には「力強く生きていく力」が与えられることでありますから、まさにこのような苦境のどん底にある家族に届いていけば、生きていくためのお金は算段しなくてはならないにしても、もし先もって教えに出合っていたら、与えられた「力強く生きていく力」によって、この苦境の難関を突破していくことが出来るのではないかと思えます。人生で苦境に陥って、その難関を突破しなければならぬのは、この家族のみならず私たち全ての者の背負いものです。ならばこそ「念仏もうさるべし」と蓮如上人が力強くおっしゃる言葉の意味を深く受け止めねばならないと思うのです。

南無阿弥陀仏(輪番)

茨木別院関連ホームページ

茨木別院 ➔ ibarakibetsuin.or.jp

いばらき大谷学園 ➔ ibarakibetsuin.or.jp/kids/

真宗教団連合ホームページ

<http://www.shin.gr.jp/>

真宗教団連合

検索

茨木別院 行事ご案内

1月

●修正会(しゅしょうえ)

- * 除夜の鐘は中止させていただきます。
- * 修正会は内勤めとさせていただきます。

●本山九日講 初講・九日講総会

- 日時 9日(土) 午前10時より
- 講師 真宗大谷派参務
- 会 所 別院本堂
- ※初講に引き続き総会を行います。

●親鸞聖人ご命日・婦人会報恩講

- 日時 28日(木) 午後1時半より
- 会 場 別院会館
- 講 師 茨木別院輪番

- * お斎の接待は中止させていただきます。



2月

●教如上人ご命日・同朋会(どうぼうかい)

- 日時 5日(金) 午後1時半より
- 会 場 別院会館
- 講 師 加藤 恵氏

●みほとけの歌の会

- 日時 8日(月) 午後1時半より
- 会 場 別院会館

●本山九日講

- 日時 9日(火) 午後1時より
- 講 師 茨木別院輪番

●親鸞聖人ご命日・婦人会例会

- 日時 28日(日) 午後1時半より
- 会 場 別院会館
- 講 師 茨木別院輪番

* 月忌参りお休みのお知らせ *

1月1日から1月5日までの月忌参りは、お休みさせていただきます。

本山九日講 初講

日時 一月九日(土) 午前10時より

場 所 茨木別院本堂

講 師 真宗大谷派参務

●初講終了後引き続き総会を開催いたします。

* 新型コロナウイルス感染症対策として、各寺院二名までの講員の参加とさせていただきます。またお斎のお弁当も中止させていただきます。参詣に際してアルコール消毒やマスク等、感染予防対策のご協力よろしくお願いします。

同朋会・婦人会

毎月五日に同朋会、二十八日に婦人会を午後一時半より開催しております。

開催につきまして新型コロナウイルス感染状況により中止させていただく場合がございます。ご理解ご協力の程よろしくお願ひします。



あけましておめでとうございます

昨年、何のためらいもなく言えた挨拶でした。しかし今回は日本中が自粛ムードの取れない中での年始め、少し遠慮がちな新年のあいさつであった様に思います。 そんな中でもいよいよ園は3学期のスタートです。心も体もうんと成長する時期です。進級・就学に向けて職員一同、子どもたちをしっかりと見守っていきたいと思っております。 今年もよろしくお願いいたします。



- 1月 8日(金) 始業式
1号認定児入園説明会・1日入園
18日(月) 消防訓練
19日(火)・20日(水) 内科検診
25日(月) 交通安全指導
- 2月 3日(水) 豆まき
6日(土) 用品販売
25日(木) おゆうぎ会
26日(金) 1日動物村(11月からの延期分)



- 今回は茨木別院本堂で行いました。
例年より取り組みが遅れてしまったのですが子どもたちは精一杯、発表してくれました。
クラスごとの観客入替え、マスク着用、手指の消毒の徹底…と異例づくしの音楽会ではありましたが、保護者の皆様のご協力をいただき、無事終わることが出来ました。ありがとうございました。



子どもたちに人気の献立紹介 かぶと鶏団子のスープ

〈材料〉大人4人分

鶏団子・鶏ミンチ 160g	スープ・出し鰹	薄口醤油 大さじ3
蓮根 80g	人参 40g・いちよう切り	ごま油 小さじ1
筍 40g	しめじ 80g・2等分にする	酒 大さじ2
土生姜 2g…すりおろし	えのき 80g・3等分にする	塩 小さじ1
塩 1g	かぶ 2個・1口大	片栗粉 大さじ1
酒 小さじ½	かぶの葉・2~3cmカット	
片栗粉 小さじ1	土生姜 5g…すりおろし	

〈作り方〉

- ① ボウルに鶏団子の材料を入れ、よく混ぜておく
- ② 水 800cc を鍋に入れ、沸騰したら、出し鰹で出汁を取る
- ③ ②に人参、しめじ、えのきを入れアクをとる
- ④ 調味料で味付けをする
- ⑤ ①を団子にして入れる(スプーン2本を使って作ると作りやすいです)
- ⑥ かぶ、かぶの葉、土生姜を入れ火を通す
- ⑦ 片栗粉を水で溶いたものでとろみをつけ、ひと煮立ちしたらごま油を入れ、仕上げる



茨木別院報恩講

昨年十一月十四日～十六日に茨木別院報恩講を厳修しました。新型コロナウイルス感染症の対策として、一部内容を変更して開催となりました。

講師として、前年度の報恩講に続き天満別院輪番の武宮信勝氏にご法話いただきました。

対策として参詣席についても通常の半分の席数となりましたが、難しい状況に関わらずたくさんの方にお参りいただきました。



太鼓楼解体

二年前に被災した大阪北部地震の影響により太鼓楼も被害を受けておりました。それにともない今回、太鼓楼の解体を行うこととなりました。

合祀墓のご案内

茨木別院墓地敷地内に合祀墓を設けております。合同納骨もしくは、納骨壇に個別で納骨することができます。



茨木別院年間行事予定表

修 正 会	7月	暁 天 講 座
1月	8月	お盆墓法要
本山九日講初講 婦人会報恩講・新年の集い		盂 蘭 盆 会
3月	9月	秋 季 彼 岸 会
5月	11月	報 恩 講
6月	12月	除 夜 の 鐘
本山九日講 茨木別院門徒会		
合同研修旅行		



園長の一言

コロナウイルスに翻弄されている今日この頃ですが、こういう気持ちや配慮に余裕のないときにこそ、子育てに心を配ることが欠け無いよう配慮しなければならぬのではないのでしょうか。コロナウイルスに感染したため、心ない中傷や差別を受ける事例が全国各地で聞かれます。我々はコロナの感染から自分の身を守ることは是非ともしなくてはなりません。しかし間違っただけならぬことは、コロナウイルスから身を守ることと、コロナウイルスに感染した人を差別することとは全く関係のないことではないでしょうか。コロナの感染により重症化し、辛く苦しい思いを経験した方が、退院してきてから更に辛辣(しんらつ)な中傷と差別を受けたことを涙ながらに語っておられた報道を思い起こします。

差別の意識は、子どもの時期に周りから刷り込まれることに始まり、重ねて刷り込まれることにより更に差別意識が増幅していくものです。わが子に差別につながるような言葉を絶対に言わないと決意することはとてもだいじなことと思うのです。こんな詩がありましたので紹介いたします。(この詩はコロナとは直接関係のない作品ですが・・・)

招かれなかったお誕生会 作詞：江口いと

孫は小学4年生 かわいい顔した女の子 仲良しA子ちゃんの誕生日 小さな胸にあれこれと 選んで買ったプレゼント 早く来てねと友の呼ぶ 電話の声を待ちました 夕陽が山に沈んでも 電話の声はありません 孫はぼつりと言

いました きっと近所のお友達 おおぜい遊びに行つたので お茶わん足らずにAちゃんは 困って呼んでくれないのかも 二、三日たつた校庭で A子ちゃん家での誕生会 楽しかったと友達に 聞かされた孫はA子ちゃんに どうして呼んでくれないの 私はとっても待ったのよ

A子ちゃんとっても悲しい顔をして 私は誰よりも千恵ちゃんを 呼びたく呼びたく思つたのけれども私の母ちゃんは 呼んではならぬと言つたのよ それで呼べずにごめんねと あやまる友のその顔を見つめた孫の心には どんな思いがあつたでしょう

私は孫に言いました お誕生日に招かれず さびしかったらうねと

孫はあのねおばあちゃん A子ちゃんとても優しいの 私の大事なお友達 A子ちゃん悪くはないのよ お母さんが悪いのよ 大人ってみんな我がままよ

寂しく言つた孫の瞳に 光る涙がありました どんなするどい刃物より 私の胸を刺しました

我が子が大切と思うなら、それ以上に自分も大切に扱わねばなりません。

お母ちゃんが「呼んではならぬと言つた」、それなりの理由や背景があるにしても、大人というものは、自分で作り上げたその理由を後生大事に抱え込み、どこまでも固執し、正しいと言って「我がまま」をおし通すものです。

園長(高本文善)

令和三年年回表

一周忌	令和二年亡
三回忌	平成三十一年亡 令和元年亡
七回忌	平成二十七年亡
十三回忌	平成二十一年亡
十七回忌	平成十七年亡
二十五回忌	平成九年亡
三十三回忌	昭和六十四年亡 平成元年亡
五十回忌	昭和四十七年亡
百回忌	大正十一年亡

年忌法要は、

なるべく二ヶ月前までに御来院
いただいて日時等ご相談下さい。

敬 弔

ご生前のご遺徳を偲び、謹んで哀悼の意を表します。(敬称略)

記

● 法名 釋正観 俗名 山名正	九十五歳
● 法名 釋信順 俗名 福浦順介	六十三歳
● 法名 釋尼喜心 俗名 山内トシ子	九十六歳
● 法名 正願院釋迪法 俗名 菅迪	九十六歳
● 法名 釋尼妙慶 俗名 鈴木慶子	七十五歳
● 法名 釋明義 俗名 梶村義治	八十八歳
● 法名 釋尼潤芳 俗名 奥谷 芳	八十五歳
● 法名 寶華院釋尼浄光 俗名 菅ミツ子	九十二歳

編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年はコロナウイルスに振り回された一年でした。今まで当たり前と思っていた事がそうではないと身をもって思い知らされました。年の始まりに「仏法のことはいそげいそげ」という言葉が響いてきます。

岡崎 康祐

制約や自粛を余儀なくされた去年から、何を学ぶことが出来たでしょうか。生活環境は様変わりしましたが、また新たな年を迎えられますことを有難く思います。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

墨林 尚顕

コロナウイルスに振り回され、あつという間に一年が経ってしまいました。昨年は、色々な行事を予定通り行うことが出来ませんでした。依然としてコロナウイルス感染は続いています。みなさん安心してお参り出来る日常に少しでも早く戻ってほしいものです。

竹内 明人

株式会社 花 廣

茨木市大手町 二二一八

☎(〇七二)六二二二四〇二